

ラオス国ルアンパバン県における 環境教育システムの構築

ひろげる助成

1年目

実践

ブレインストーミング参加者
(教育局職員・教員10人を含む) **34人**

開発した教材の利用者
(中学校4年生) **128人**

今年度計画の達成度 **85%**

目標達成度 **50%**



中学校での環境教育ゲームワークショップ

活動内容と成果

●教育局、教員、農業大学(教員、学生)34人が参加し、プログラム作りのブレインストーミングを実施 ●事前研修、中間意見交換会を実施。教員、農業大学34人が参加 ●教材を開発し、230部印刷。中学校2校の4年生128人が使用する ●中学校2校にて年4回の環境教育ワークショップを実施し、延512人が参加。(環境意識の変化については、2018年9月にアンケート調査、次回は2019年5月を予定) ●中学校2校にて、環境ワークショップの一環として、種からの苗木育成を実施(2019年5月に植林予定)

課題

ラオス国ルアンパバン県において、自治体や学校に十分な予算がないため、学校が自発的に環境教育を実施し、環境保全活動に取り組むのが困難である。

目標

ラオス国ルアンパバン県の2地区において、環境教育のための教材開発、教員の人材育成が行われ、中学校で環境教育が継続して行われるためのプログラムが定着する。



中学生による種からの苗木育成

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

教員の人材育成を目標としていたが、各中学校でも初めての試みであるため、教員のみで活動を実施、継続していくのが難しい。

■工夫した点

地域の農業大学と協力し、学校と協力して環境教育を行うことで、教員に過度な負担を強いることなく実施することができた。

| 活動地域 |  ラオス

〒102-0092
東京都千代田区隼町2-12
藤和半蔵門コープ103号
電話：03-3512-0355
E-mail：info@habitat.or.jp
https://www.habitat.or.jp



今後の
展望

環境教育を学校で定着させていくため、学校と農業大学との連携を強化することができた。2年目は、1年目に作成した教材などをアップデートしていくとともに、5年生向けにごみ問題をテーマとした教材を作成する。

